

(協力隊になろうと思ったきっかけ)

協力隊になろうと思ったきっかけは僕が大阪で大阪に行ってたんですけど、その時がベンチャーの会社だったし「いずれ自営業したいな」って想いはあったんですよね。でも、その会社自体も僕もそこに四年間在籍してて退職金もないし「早く独立し、早く起業しなさい」みたいな感じの社長も言ってたし、自分的にはタイミング的にもよかったんです。「自営業したいな」っていうのがあって。一方で自営業したいけど「ちょっと環境変えたいな」っていう想いがあって「このまま大阪でやってても何業をするのかな？」みたいな感じで特に業種ってそんなにこだわりがなかったんですよ。販売もしてたし、ちょっと語学も使えるんですけど「何かな？」って思ってた。そう思った時に熊本地震があったんですね。熊本地震があって、とりあえず、その時にゴールデンウィーク前だったんで「行ってみよう」ってなった時に、昔ちょっとワーキングホリデーに行った時があって、その時の宮崎県にいる友達と話して、宮崎から鹿児島と熊本まで行って、ボランティアとしては地震があって、まだ落ち着いてない状況だから、結構ボランティアも集まってたけど、あんまり仕事がないような状況で、ちょっと不完全燃焼な感じも残ったし、行くには行ったけど、本当もつとできるけど危ないから素人とかがあんまできんじゃないですか？「もっと力になりたかったな」っていう名残惜しさと、宮崎と熊本も行って食事とかもして、そういうところ今まで行ったことなかったんですが、南の方の九州のが博多までで、すごい空気感っていうのか、自分の中にすごい印象に残ってて最初にちょっと言ってた自営業しながら自営業もしたいけど、地方移住もして自営業したいなっていう想いに繋がった。それでネットサーフィンしてると協力隊っていう制度があって、もうそこはポンポンポンでした。ネットでもメリット・デメリットを見て、もちろん給料がガクって下がるとか田舎ならではの住みにくさとかいうのも見たけど、僕も結構大学から転勤とかで地方は転々としてるし海外も住んだし「全然大丈夫だな」っていうのと。協力隊のドラマなんかありましたよね？『ひまわり』って。主人公の協力隊の子はすごい明るくて溶け込んで地元住民の人の方がちょっと葛藤みたいな。「ああいうストーリーあるんだな」っていうのもイメージ湧いたし「どこかな？」ってみた見た時に鹿児島・宮崎・熊本三県で見てて、いろいろ見てたし、志布志も最終候補の三つぐらいに入って、決め手になったのは大阪とフェリーで繋がってるんで、そういう観光的なものとか、流通的なものでビジネスとしてやりやすいかなっていうのと、志布志そのもので見ると、前の市長の政策なんですけど、日本一チャレンジめちゃくちゃしてて。しょうもないんですけど、日本一長い巻き寿司を作るとか、人数をとれば誰でもできるんですけど、日本一高いかき氷を作るとか、日本一っていう名前を冠して志布志のブランドを上げようみたいな感じしてたんですよね。多分めっちゃまちの中で批判も結構多かったから今も全然前に出てこないんですけど、結構響いたんですよ。その当時とか結構協力隊の募集のページには、結構いいこと書いてても多分担当者が記事書いていいこと書いてなと思って、市のホームページ自体がほぼ情報がなかったりとかある中で、志布志はウナコっていう炎上したんですよ。それすら面白く感じたんです。あれまたちっちゃい町だし、そういう多少炎上系のPR

でもあるなと思ったし、頑張ってたんですよ、情報発信めっちゃ。でも、そのぐらい頑張ってる人とかいたら面白そうだってのもあるし、自分が入っても「そういう地元の頑張ってる人と移住者たちで何かできそうかな」っていうのもあったし、協力隊の制度も僕が入った時は、3期目だったんで過去に2年やってる先輩達の姿も見えたし、結構辞めちゃったんですけど、そういうので自営業したい、そして地方に行きたい、地方に行くきっかけもできたし、そこで地域おこし協力隊っていう制度が転がって「これやるし、これ活かすしかないな」と思って先に絞り込んだら、志布志が良かったなっていう感じで、2017年3月なんで今で6年仕事。

(協力隊時代に意識していたことは?)

協力隊と行政と全然うまくいってなくて、皆人もすごい文句言うし、僕は所属課が窓口だったんですよ。でも、僕はその係の方では協力隊を担当する職員の人がいるし、一方で協力隊の集まりに行けば協力隊だしって思ったけど、辞めていく率も高かったんですけど「これなんかどうすればいいかな?」ってなった時に一応両方から話聞いて「こうすればいいんじゃないですか?」みたいな、ちょっと橋渡しみたいなポジションになって。行政側と協力隊のそれぞれから声を聞いて。だから協力隊のミーティングっていうのが週2回取られてたんですけど、基本生産性のある話全然なくて「行政のこのやり方もうばまだね古いだよね」みたいな感じでもうめっちゃ言ってるけど、「この時間なんだろうな」ってすごい思って、愚痴を言って。でも、それまでは愚痴を言う時間すらなかったみたいな感じだったんですけど、そういうのも寂しさもあったし、一方で職員の人達も協力的なやつらって「我が強いし、もう言ってるだけで大したことしないよね」って。私そこをうまくちょっと流したいなっていうので、発表会の中で書記を務めたりとか、書記勤めて報告したりとか「じゃ田川さん情報伝えてください」と協力隊の出したりとか代行してたりとか。結構そういう協力隊の移住ミッション、婚活ミッションも係の人がやってたけど、結構協力隊とそこの強制みたいなとか、そこは苦勞っていうよりはもうちょっとずつやって、流れは変えられたかなっていう感覚はあって分かり合えるんじゃないかなっていうぐらいでしたね、やっていく中で今見出したことの一つとしてはそういう橋渡しのところですかね。任期中はでも本当職員の上司もすごい理解があったし上司の人とかで嫌だったなっていうのは無かったんですけど。

(橋渡しのところでなんか具体的にこれやってて一番良かったことは?)

その当時まだイベント市長で、日本一チャレンジ市長だったので「もうとりあえず目立つことせんか!」という感じで言って。『目立つことせんか!』の中に「とりあえず何でもいいから」っていう感じで「イベントとか何でも出ろ」みたいな感じだったんですね。それはもうそれを逆手にとって春祭りの時とかも出店して、ちょっとしたご当地のものを使ってやろうとか、小規模ですけどやって先輩達の方声かけてたことでもあるんですけど。僕が3

月に来て4月29日っていうのがまち一番のお祭りがあって、それは先輩達がやるからやっ
たんですけど、そこから先のイベントってのも全部拾って行って、夏祭り、花火大会の日と
か全部拾って行って「出ましょう」って行ったり、。あとバンドを組みましたね協力隊で。
バンド組んで、それも最初僕が来て3月とかの時にギター演奏して、バンドを、最初僕一人
で弾き語りみたいな感じだったんですけど「せっかくだから仲間であろうよ」みたいな感じ
で言って、最初1人やって、次3人、そこは5人6人7人みたいな感じで協力隊でメンバ
ーが変わりながらメンバー入れ替えて行って、それぞれちょっとでも楽器経験ある人はそ
の楽器をやって、まちバンドみたいな感じでイモ演奏的な感じで高齢者施設行ったりとか、
夏祭り行ったりとか「ぶっちゃけ、それ仕事か？」みたいなところがあると一応自分のそのミッ
ションを果たした上でやって。しかも、もうその課長とかも「ちょっとうちの集落の場所
に来てくれんか？」とか、そんなもんもあって。協力隊、当時の市長のその後押しもあった
から、それを「じゃとことんやろう」って感じで、イベントも出店してもバンドもして、あ
とは地域の人の遊園地があるんですけど、その遊園地の中の、日本一チャレンジ中で「人
員が欲しいから一緒に企画して」みたいな感じで僕も企画の中で委員に入って「協力隊を呼
んで一緒に作り上げたかな？」っていう、その流れを組んで組長のその意思を組んで「最大
限やりましょう」って言ったら、もうやるしかないから。多分市役所職員の方も多分その当
時の人とかあんまり好きじゃなかったと思うんですよ。僕らも直接言われてるから、だからそ
れを言われたことをやってるから多分感謝されていると思う。多分すごいしんどいでしょ
う職員の人って、「こんなこと言ってるよ」つつってこの流れっての市長が言って職員の人
も思ってるんですか？「え？」って思ってることをちょっと市長がやってるんで「協力隊や
ってもらっていいですか？」と「なんでだ？そんなやるわけねえだろう？」みたいな感じに
なってジレンマを抱えるみたいなこと言ったんで「せっかくだったら、こういうのやったら
いいんじゃないですか？」とかいう感じでできる範囲でやって、そこ風通し良くなったから
職員の人達も自由に認めてくれるようになったし、普通勤務中にバンドの中準備とかあり
えないじゃないですか？けどもうそこはもう目をつぶってでも市長も言ってるし、協力
隊活動一貫でみたいな感じで、僕それ楽しかったです。それ1年目だったし、そこも本当そ
のおかげで人脈とかすごい広がったし「やってよかった」だって、音楽って売れてるアーテ
ィスト以外だけど、むしろライブとかその自分達お金払うんです。1万とか2万払って、そ
れをチケットをノルマをもらって「半額でいいから買ってくれ」みたいな感じで。みんなに
かからないといけないのに逆に言ったら「ごめんね？」「“ちょっとお弁当だけとか”って言
ってモノもらったりとかすみません」「交通費だけで」とか言ってか1000円もらったりと
か、こんな低レベルの演奏でそんな受け入れてもらって「流しのバンドなんですか？」みた
いな感じで「流しどころか、ただの素人の集まりです」、だからそこ本当すごい、自分達が
それって必要とされてるなんてありがたいなと思って。地域おこし協力隊の市役所のミッ
ションは本当市役所の職員だったなと思うんですけど、協力隊としてのミッションはそう
いう課外活動だったなんていうふうにすごい思いました。

(コミュニケーション)

結構僕はもう何でもやりたかったんで、3年間ってめっちゃ短いんで、もう来て3月に来て月末には自分がちょっとヨガをしてたのでヨガを今のインストラクターとして活動できるかなと思って、来て2日ぐらいで公民館とかあって時間確保して発信して、音楽もしたし、僕格闘技をしてますけど、ブラジリアン柔術ってという、それとかも知り合いとか通じてやったし。あと空手か。そういうもうアフターの時間をとりあえず毎日家にいなかったんですよ。ひたすら、家にいない時間は家にいない時間の中でアフターに出ていったら出て行った先の人たちも飲みに行って、音楽なり運動なりなんかで行った先の人たちとまた仲間と飲みに行ったりとかして、基本日中家におらんでした。箱ですよ、家が。そのぐらいまで結構「仕事か」というぐらいずっと外に出てたんで、あんまりやりたいで結構バーって導かれるように人脈が広がっていったので、そこはあんまりだったし、結構できてちょっとしてから今の妻なんですけど、地元で観光協会もしてたし、結構顔が広がったんで妻を通じてそういう世界も広がったし、それこそ格闘技の柔術とかもは妻の同級生とかを通して広がっていったので、本当最初の方にできた人脈と中心にガって広がって、割と名前は広がっていった感じですかね。大したことしないけど、結構顔が広がっていったって感じで(動画を見た上の感想、田川さんきっかけで人が集まる話) 嬉しいですね。自分がレッスンしてる時間っていうよりかは皆が繋がっていくっていうのが本当やりがいっていうかきっかけなんだなと思って。だから、そもそもヨガっていう言葉が“繋ぐ”っていう言葉が込められてヨガみたいなあるんですけど、本当何でもいいです。音楽だろうが趣味だろうがね。仕事だろうが。それを通じて人が繋がっていくっていうのが本当自分の後の方のあれですけどモットーです。今日から午後からも新しいパートさんも1人来るんですけど、4月から事務所協力隊って現役で志布志に3人いるんですけど、4月からの事業で今公務員だったのがうちの会社で雇用をすることになって、それぞれのフィールドがあるから多分ずっとここにいるわけじゃないんですけど、閉鎖された空間で縦割られたところからのびのびと活動昇進ですね。そういうところで人を繋いだりとか。従業員さんのこともクルーって言うんですけど、スタッフっていうかクルーって1個乗組員って感じチーム感があるんです。僕はおらんくても、みんなやってくれるとか、そういうのは本当自分の目指すあれで、だから結構自分本当抜けて、みんながどんどんそういう感じで連鎖で繋がっていったって広がっていくっていうふうな感じの、一連の中で切り込むのが自分っていうだけで、どんどんそんな感じ繋がって言うてくれたらいいな。

(ゲストハウスはいつから考えていた?)

でも、ちょっとそれ考えてたんですよ。大阪の時の民泊、輸入のベンチャーだったんですけど、輸入業務とかしてて民泊業もしてて、ベンチャーだったらもう収益になら赤字事業とかめっちゃくちゃあったんですけど、多分普通の頭でサラリーマンで言ったら売上とか利益

が伸びる事業に注力していったのに、社長が利益度外視していろんなこと調整すると会社としても微妙だし、自分たちもボーナスが減るじゃないですか？だけど「経営者って考え方が違うんだな」ってところに触れて、でも民泊はとりあえず自分もノウハウがあるし、できるっていうのと移住交流の仕事してる時に「多分それマッチするな」とは来る前にに思ってたんですね。宿が物件が確保できるかどうかわかんないけど、いきなりこんなド田舎中に移住したいとかないじゃないですか。でも、実際にでも移住者フェアとか行っても「初めまして」みたいな「こここういう街なんですけど」「志布志って行って」って言ってなんか来る人だってもう誰も知らないからです。「どこ、これ？」みたいな九州の右左下とか、そんなレベルから始まるから移住の相談どころか、観光の概要から説明しないといけない。そこにそういうアクションも大事だと思うんですけど、実際宿って泊まりに来てるからそこにおるじゃないですか？おる人に「ここでこういう取り組みしてるんです」「こんなまちなんですよ」って肉付けしてる方がいずれそれがリピーターになったりとか。それが関係人口ですから。リピーターだったら誰かに口コミで言って、いずれ移住かなんか、逆のアプローチでいいんじゃないかな。対外的で情報発信したりとか、移住フェア出るのもいいけど、来たお客さんに住み心地とか、もう一歩をお勧めとかっていう感じで。でも、ちょっと2年目1年経った時ぐらいから、その上司にも「僕こういう事業したいんです」って言って、一応説明としては通ってるし、当時協力隊が上の世代がもう全然残らんかったんです。みんなめっちゃ早く帰っていった。そういうのもあるからちょっと定住活動の一環としてはある程度その物件探しかも時間の中でやっていいと言われて、2年目の最後に物件契約して、3年目からもスタート一応収入とか、その3年目だったんで収入とかももらえるけど一応その報告を出すみたいな「民泊こんな人来ました」とか「一応志布志のパンフレットを出しました」とかっていうのも一応って感じですね（上のゲストハウスの考えを伝える）「そうできたら理想だな」と思って、修学旅行きたりとか、団体、一応自宅兼民泊なんで僕も多少生活に入ってくるとちょっと疲れる部分もあるし、うちの妻なんかもうめちゃくちゃ潔癖だから正直嫌って言うてるんですけど、団体が入れる7人入れるんで、ホテルだとカップルとか夫婦だったら2人部屋入るけど基本みんな個室だったと思うんですけど、ちょっと5人以上とか団体旅行の時に貸切で、もしくは7人だけど、子供とかもいつもほとんどいぐらいの感じの人とかだったら10人ぐらい来るんですけど、そういう箱がホテルだないっていうのもあって、それで結構人数は大人数が最初ボコボコ入ったりとかはあったり、修学旅行そうですね。教育、他の研修とかのお話があったりとか、外国人も当時はまだまちょこつと来てたから、でも、だからうちは今向こう日中こっちにすることが多いんで、そんなメインで回せないですけど、今も1ヶ月滞在するおじいさんがいて、毎朝朝ごはん食べたならもう半日、朝朝食打ちで出して、その時に結構会話してそっから朝まち歩きして昼過ぎにお昼待ちで食べて帰ってくるって言うルーティンですけど、そういう時間がね、余暇がある人はそういうふうな滞在することもあるし、全然違うお客さん同士と一緒に生活するからそこで繋がることもあるし、繋げる機会ってのを作ってたかった。「それが実現できると嬉しいな」っ

ていうのはあって、若い子とかはインスタとかもフォローしてもらって、その後とかたまにコメントとかいいねとか来てくるとあれだし、去年妻が妊娠してたんで、台風の時だったんですね。いっぱい来た時に、すごい忙しい時もあったんですけど、妻もおられたし、台風で家も大変だしっていう時に、インターンシップで帰った3人が「ベビーちゃん用に置いて」って荷物送ってくれた時とか、本当もう疲れてるからちょっとやっぱりもうだいたいぶ染みましたしね。そういうのが結構繰り返していく。そういういい人が去年はこと多くてモノをもらうからって嬉しいっていうか、そういう繋がりってなんかもう一過性でそこで普通に終わりじゃなくてあるってのは本当ありがたいなと思いますね。結果ちょっと移住とかまでは行ってないんですけど、声かけて別にちょっと連絡は取ろうと思ったら取れるぐらいの感じでやれるかなって。

(田川さんなりにできること)

会社組織としても事業をしているので、例えば情報発信とかデザイナーのこういう人とかやったらそれとか副業を受けていいのであれば、お仕事振れるかもしれないし、情報発信とか困ってるとかだったらうちは結構定期的に出しているネタがあるのでコラボして発信するとか、あるいはここでワークショップをしてもらうとかできるし、うちもちょっと委託事業のウェイトでかいからちょっとどうなるかわかんないですけど、任期終わって定住したいけど、この場所をちょっと仕事ないかもしれないとなった時は「ウチで働いてくれてもいいのかな」っていうのもあるし、すごいフィーリングが合ったらですね。それはすごく思いますね。まずは「その方のどんな人なのか?」とか「どんな努力を持ってるのか?」とか「どうになりたいのか?」とかそういうのはヒアリングとかして、その上で解釈して「こういうのはどう?」とかですね。仕事で繋がりたいですね。はっきり言ったら、その経験談とか多分僕なんか話して多分つまんないと思うですね。よくいろんな方がもうもっと著名な方が来たりとかされてるんで、そのまま聞いてくれる分にはいいんですけど、もう語っても知らないと思うんですけど、むしろ「そのスキルを使ってこの仕事だったらちょっとこの人にお願いできるかな?」とか副業とか、もしくはこの近辺になると思うんですけど、僕はOBだからみたいな感じの関係性で仕事時間外でも連携、行政が認めてくれるんだったらそれでもあれだし、もう副業になるんならお願いできるかもしれないし、せっかく協力隊っていう風な感じで来てるんだったら一緒にできればな、一緒にできるっていうのも全然まずやることありきで集めちゃうとすごいしょうもない企画になっちゃうので。その人のスキルに対しても、こっちも仕事を願ひするって感じで仕事ができれば嬉しいですね。

(譲れないところ)

“義理を果たす”っていうか、鹿児島って義理ハイって言葉があつたりとかすると思うけど。結構それ僕自分の中にすごくあって、すごい自分を可愛がってくれたりとか、お世話にしてくれてしてくれた人にはベストベストでも答えていくっていう、それ以上でしっかり義理

に答えていくっていうのは、もうずっと信条にしてて、それはずっとマストにやってるんで、そこを大事にしてる感じかな。立場上誰それ構わず八方美人にならんないってこともあるんですけど、最終的に「本当この人大事だな」っていう人に関しては一生懸命答えるってのはそれはもう全然自分が絶対やってること。それも譲れないところ。逆に「もうこの人はもうダメだな」って思うと、もうちょっとそこもだんだんフェイドアウトとするし、いい意味で分かりやすく言えば本当差別してますもん。大事にする人なら「この人にかける」っていう人がもうめちゃくちゃ差別してるし、差別もします。できることもできなくなっちゃうし「しょうがないことってあるんだな」って思うし。協力隊でも辞める子って別にもうそこは辞めたら悪いとかじゃないし、去り方は大事だと思うんですよ。去り方がよければいいけど「あかな」って時はもう割と僕言っちゃうタイプなんですけど「正直ちょっとおかしいと思います」とか言っちゃう。良い去り方した人はもういい感じで「別に辞めたから友達じゃないとかそういうわけじゃない」っていうところは言いますかね。普通にやり取りだったりとか辞めたとしてもたまに遊びに行くとかそういう関係性は続けられます。コロナが開けて去年とかは、もともと志布志市の協力隊を辞めて地元に戻った人も来たり、来てまさにこの場で「橋口さんって人がもう帰ってきたよ」って言ったら僕の同期とか残ってる人も皆集まってきたし、でも現役の人も呼んで、そういう空間でこの場所がないと多分できなかったと思いますよ。そこも嬉しかったし、でも僕はちょっとその時従業員さんも帰ったからもう表に行ってたけど、そっちに中央に立ててもこっちになんか喋ってる声聞こえてくるんで「ちょっと」と言ってたけど2時間ぐらいずっといいなと思ってましたけど。そういうので先輩が戻ってくるこの場所あってよかったなと思ったし、横の大崎町の協力隊辞めて任期が終わって帰った子も来てくれて「なんか刺激を受けました」って来てくれたのもあれだし、でもそこは本当すげえ褒められるんですけど、もう最初は有頂点になる時もあったけど、もうそれが自分の使命だなって思って。だからここはここで残したまま、もう今週からもうこの2階も借りてDIYしてレンタルオフィスコワーキング個人型のコワーキングスペースっていうの作っていくんですけど、ここも終わったらもっと商店街で次の店舗またこの辺のない店とかで、事務所とか作ってどんどん店舗活性して本当頼むおこそ会からすごいもう加藤さんの取り組みとかにもすごいフューチャ受けてるんですけど、そういう感じにしていきたいですね。

(協力隊制度の課題、展望)

すごく僕は個人的にいい制度だと思う。しかも感謝してますよね。でも、僕が入ってた時よりももっと今給料も上がってるし、ボーナスももらえる。だって僕がさっき言った時だって、より定住しやすくなったと思うし、僕の時ですら「年収も半額にもなってもいい」と思ったんで。僕はもう個人的に「今こそ来ないと損だろう」ぐらいの思うんですよ。それぐらい思ってた。課題となる部分って、受け入れ先によって本当飼育殺しで終わってしまうところも結構多いし、この周辺のね、自治体とかでも本当協力されてきて、もう1年のうちで外出し

たことが最初の挨拶回りと職員の対応でしかなくて。あとひたすらパソコン叩いてるとか、9時17時パソコン叩いてるとか9時17時メール打ってるとか。あと心病んだ、本人の結構協力隊ってことよくも悪くも変わった人が多いから本人の問題もあるんですけど、心病んだりとか、そういうミスマッチは本当起こりうるし、どっち側の課題でもあって、それこそ吉村さんとかの研修も僕出させてもらったんですけど、選考の上でしっかり作り込んでそういうミスマッチを潰していかないといけないし、もちろんいいこと言ったら騙して連れて来るのも駄目ですね、最後ちょっとそういう協力隊の活動意味で後押しするような、取り組みってというか風土っていうのがそのまちなかったら採るべきじゃないなと思うし、それも課題で感じるけど、うちに関しては志布志は一応移住支援ってところで仕事をもらって、移住支援の一環として婚活事業、協力隊の募集中を管理事業ってのももらったんで、むしろもっと協力隊を募集で出していくんで、うちにも応募してくれたら、一緒に働くような形になるんで是非とも「人生変えたいな」っていう人に聞いてほしいなって。実際やるし、これからいい人が来てくれたらもっともっと志布志って採れる協力隊が多くなると思うんですよ。仲間もいっぱいいるし、実際うちの従業員の人達も、今立ってた人も関西の人とかだし、UIターンとか言ったんで、それで一応今構成されてるから同じ仲間みたいな感じで、組織がでかくなれば、その人間関係とかちょっと今すごいいいんですけど一つの、トゲのある人とか来たちょっと入りますけど、せっかくそういう仲間がいるから、そこにこっ飛び込んでもっと志布志と一緒に盛り上げていきたいなっていう。